日刊(日曜日、土曜日、休日休刊)



発 行 **◆**東京都

目

次

77

)」を加え、同表八の項を次のように改める。

規

則

○東京都福祉のまちづくり条例施行規則の一部を改正する規則…

則

規

-------(福祉局生活福祉部企画課)…

東京都福祉のまちづくり条例施行規則の一部を改正する規則を公布する。

東京都知事 小 池 百合子

●東京都規則第百四十五号

令和七年七月三十一日

東京都福祉のまちづくり条例施行規則の一部を改正する規則

次のように改正する。 東京都福祉のまちづくり条例施行規則(平成八年東京都規則第百六十九号)の一部を

使用者用経路」という。)を含む。)」を加え、同項第四号及び第六号中「一以上の」以上ある場合にあっては、いずれか一の経路に係る部分)」を加え、同項第二号中「一以上の」を削り、「経路」の下に「(当該利用居室が観覧席又は客席である場合にあっ以上の」を削り、「経路」の下に「(当該利用居室が観覧席又は客席である場合にあったは、当該観覧席又は客席の出入口と車椅子の転回に支障がないことその他の車椅子使用者用経路」という。)を含む。)」を加え、同項第二号中「一以上の」を加入した。)」を加え、同項第二号中「一以上の」を加入した。)

寄く走月香月圣路となる。シーと口よう。を削り、「経路」の下に「(当該利用居室が観覧席又は客席である場合にあっては、

車

「(当該利用居室等が観覧席又は客席である場合にあっては、車椅子使用者用経路を含合にあっては、車椅子使用者用経路を含む。)」を加え、同項①②中「経路」の下に掲げる構造の」を削り、「経路」の下に「(当該利用居室等が観覧席又は客席である場別表第三 一の項①①中「経路」の下に「(当該利用居室等が観覧席又は客席である椅子使用者用経路を含む。)」を加え、同項①②中「八の項〇①に

けないことがやむを得ないと認められる階

椅子使用者用便房を一以上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合においては、当該便所のうち一以上(次に掲げる①の場合にあっては、①に定める数以上)に、車臼 ○の規定により刊に規定する便所を設ける階(以下この項において「便所設置階」という。)に設けなければならない。

(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上) 口 一に規定する便所を設ける場合には、当該便所のうち一以上に、車椅子使用者用便房を一以上面は、組面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。

③ 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所の床の表者等が利用する上で支障がない位置に設けることとする。

準は、特定の階に偏ることなく設けることその他の不特定若しくは多数の者又は高齢者、障害② 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所の配置基

営上不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所を設不特定若しくは多数の者又は高齢者、障害者等の滞在時間が短い階その他の建築物の管理運介 不特定若しくは多数の者又は高齢者、障害者等が利用する部分の床面積が著しく小さい階、する位置にあるもの

して高齢者、障害者等が利用する便所を一以上設ける施設が同一敷地内の当該出入口に近接ア 直接地上へ通ずる出入口のある階であって、不特定若しくは多数の者が利用し、又は主とればならない。

これらの者が利用する階(次に掲げる階を除く。)の階数に相当する数以上を設けるものでなけ① 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所の数は、げるものでなければならない。

○日 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所は、次に掲出する。

八 便所

上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、臼川に掲げるこれのにはれることは、台川に掲げる

の分子用の付に規定する便所のみを設ける便所設置階 当該付に規定する便所のうち一以を一以上設ける場合

場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、男子用の車椅子使用者用便 居上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、闫川に掲げる

- □ 男子用の○に規定する便所のみを設ける便所設置階 当該○に規定する便所のうち一以り 次のM又はMに掲げる便所設置階の区分に応じ、当該M又はMに定める場合便可能置限と外の便可能に貼らい、当該
 - 便所設置階以外の便所設置階の刊に規定する便所に設ける場合
- (単所設置階の刊に規定する便所に設けるべき車椅子使用者用便房の全部又は一部を、当該一以上)設ける施設が同一敷地内の当該出入口に近接する位置にある場合
- 上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれア 便所設置階が直接地上へ通ずる出入口のある階であり、かつ、車椅子使用者用便房を一以するものとする。
- 図 車椅子使用者が車椅子使用者用便房を利用する上で支障がないものは、次のいずれかに該当の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)
- イ 便所設置階の床面積が四万平方メートルを超える場合 当該床面積に相当する数に二万分ア 便所設置階の床面積が一万平方メートルを超え、四万平方メートル以下の場合 二者用便房のみを設けるものを除く。)の数を超える場合にあっては、当該便所の数とする。
- のア又はイに定める数。ただし、当該数が便所設置階に設ける刊に規定する便所(車椅子使用① 当該階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、当該床面積の区分に応じ、次房を利用する上で支障がないものとして次に掲げる②の場合は、この限りでない。

あっては、それぞれ一以上)設けなければならない。ただし、車椅子使用者が車椅子使用者用便

令和7年7月31日(木曜日) 3

に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)設けなければならない。 齢者、障害者等が円滑に利用することができる構造の水洗器具を設けた便房を一以上(当該便房

- 卿(日及び目に定めるもののほか、臼の規定により設ける臼に規定する便所のうち一以上には、高 下している
- エ 車椅子使用者用便房及び便所の出入口には、当該車椅子使用者用便房の設備及び機能を表
 - ウ 一般用の便所に近接し、分かりやすく利用しやすい位置に設けること。
 - **イ** 車椅子使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間が確保されていること。
 - ア 腰掛便座、手すり等が適切に配置されていること。
 - ③ 車椅子使用者用便房は次に掲げる構造のものとする。

場合

子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使用者用便房)を設ける 用の臼に規定する便所及び女子用の臼に規定する便所を設ける階に設けるものに限る。)に男 用便房)の数を差し引いた数)以上の車椅子使用者用便房(当該車椅子使用者用便房(男子 使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使用者 位置にある場合にあっては、当該教から当該施設に設ける車椅子使用者用便房(当該車椅子 階に設けるべき車椅子使用者用便房の数を加えた数(臼Mに規定する施設が臼Mに規定する は、当該階数に相当する数)に闫本文の規定により床面積が干平方メートル以上の便所設置 る川に規定する便所のみを設けるものを除く。)の階数に相当する数を超える場合にあって の端数を切り捨てた数)(千平方メートル未満の便所設置階 (車椅子使用者用便房のみを設け 満の階の床面積の合計に千分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、そ エ 床面積が千平方メートル未満の便所設置階を有する建築物に、床面積が千平方メートル未

場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、女子用の車椅子使用者用便房

りを設けなければならない。

を一以上設ける場合

ンチメートル以下のものに限る。)その他これらに類する小便器を一以上設け、当該小便器に手す 便器を設けるもののうち一以上には、床置式の小便器、壁掛式の小便器(受け口の高さが三十五七 の目から出までに定めるもののほか、口の規定により設ける口に規定する便所であって、男子用小

- 図 腰掛式とした大便器の一以上に、手すりを設けること。
 - ② 大便器は、一以上を腰掛式とすること。
 - ① 床面には、段差を設けないこと。

造としなければならない。

該便所に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)は、次に掲げる構 他(口から内までに定めるもののほか、口の規定により設ける口に規定する便所のうち一以上(当 わなければならない(他におむつ交換ができる場所を設ける場合を除く。)。

ドその他の乳幼児のおむつ交換ができる設備を設け、当該便所の出入口には、その旨の表示を行 該便所に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)には、ベビーベッ

対しいの国までに定めるもののほか、「の規定により設ける」に規定する便所のうち一以上(当) 入口には、その旨の表示を行わなければならない。

子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)設け、当該便房及び便所の出 ベビーチェアその他の乳幼児を座らせることができる設備を設けた便房を一以上(当該便房に男 田 口から囲までに定めるもののほか、口の規定により設ける口に規定する便所のうち一以上には、

別表第三 十三の項を次のように改

る

十一 観覧席・客席

- 回 集団補聴設備その他の高齢者、障害者等の利用に配慮した設備を設けること。を超える場合には、二箇所以上に分散して設けなければならない。
- 回 車椅子使用者が円滑に利用することができる場所は、観覧席又は客席に設ける座席の数が二百て設けること。
- オ 同伴者用の座席又はスペースを車椅子使用者が円滑に利用することができる場所に隣接し
 - エ 車椅子使用者のサイトライン (可視線) に配慮した位置に設けること。
 - クー床は平らとすること。
 - イ奥行きは、百三十五センチメートル以上とすること。
 - ア幅は、九十センチメートル以上とすること。
 - ② 車椅子使用者が円滑に利用することができる場所の基準は、狄に掲げるものとする。 数
- じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)に二を加えたウ 当該観覧席又は客席に設ける座席の数が二百を超える場合 当該座席の数に百分の一を乗分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)
- イ 当該観覧席又は客席に設ける座席の数が百を超え、二百以下の場合 当該座席の数に五十
 - ア 当該観覧席又は客席に設ける座席の数が百以下の場合 二
 - ① 車椅子使用者が円滑に利用することができる場所の数は、次に掲げるものとする。 ればならない。

て山に掲げる区分に応じ、当該区分に定める数以上の辺に掲げる基準に適合する場所を設けなけ
「 車椅子の転回に支障がないことその他の車椅子使用者が円滑に利用することができるものとし次に掲げるものでなければならない。

不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する観覧席又は客席は、

り上げた数)以上であること。

の合計数に五十分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切設の数(当該駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該駐車場に設ける駐車施設の総数)しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する駐車場に設ける駐車施設の総数(当該队に規定する駐車場以外の不特定者上設ける場合にあっては、当該駐車場に設ける車椅子使用者駐車施設の総数)の合計数が、船者、障害者等が利用する駐車場に設ける車椅子使用者駐車施設の総数)の合計数が、齢者、障害者等が利用する駐車場に設ける車椅子使用者用駐車施設の数(当該駐車場を二以じ。)及び当該①に規定する駐車場以外の不特定者しくは多数の者が利用し、又は主として高場合にあっては、当該①に規定する駐車場に設ける駐車施設の数(当該①に規定する駐車場と設ける駐車を記したいで間可能な場所が一以上設けられていること。

ア 当該①に規定する駐車場の出入口の部分に車椅子使用者が円滑に自動車に乗降することがる場合 主として高齢者、障害者等が利用する駐車場を設ける場合であって、次に掲げる基準に適合す

② 山に規定する駐車場及び山に規定する駐車場以外の不特定若しくは多数の者が利用し、又は車椅子使用者が円滑に自動車に乗降することが可能な場所が一以上設けられている場合機をつ他の機械装置により自動車を駐車させる構造のものであり、かつ、その出入口の部分に
① 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する駐車場が昇降用者が、当該駐車場を利用する上で支障がないものとして次に掲げる場合は、この限りでない。

数を切り上げた数)以上の車椅子使用者用駐車施設を設けなければならない。ただし、車椅子使る駐車施設の総数)に五十分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端談駐車場に設ける駐車施設の数(当該駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該駐車場に設け

○ 不特定者しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する駐車場には、当

十三 駐車場

A+ I=1 NIII | 1 . . . |

使用者用駐車施設から利用居室等までの経路についての誘導表示を設けなければならない。使用者用駐車施設を設ける場合には、当該車椅子使用者用駐車施設又はその付近に、当該車椅子臼 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する駐車場に車椅子ときは、道等。口において同じ。)までの経路の長さができるだけ短くなる位置に設けることの 当該車椅子使用者用駐車施設から利用居室等(当該建築物に利用居室等が設けられていない回 幅は、三百五十センチメートル以上とすること。 車椅子使用者用駐車施設は、次に掲げるものでなければならない。

に改める。

者が利用する上で支障がない位置に設けることとする。

する便所の教とする。

子使用者用便房のみを設けるものを除く。)の数を超える場合にあっては、当該多数の者が利用のア又はイに定める数。ただし、当該数が便所設置階に設ける多数の者が利用する便所(車椅) 当該階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、当該床面積の区分に応じ、次者用便房を利用する上で支障がないものとして沈に掲げる凶の場合は、この限りでない。

場合にあっては、それぞれ一以上)設けなければならない。ただし、車椅子使用者が車椅子使用に使く、車椅子使用者用便房を一以上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設けるう。)においては、当該便所のうち一以上(次に掲げる①の場合にあっては、①に定める数以上)厂の規定により多数の者が利用する便所を設ける階(以下この項において「便所設置階」とい

- 一〇 規定により多数の者が利用する便所を設ける階(以下この項において「便所設置階」とい一以上)設けなければならない。
- 一以上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ口 多数の者が利用する便所を設ける場合には、当該便所のうち一以上に、車椅子使用者用便房を図 多数の者が利用する便所の床の表面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。
- ② 多数の者が利用する便所の配置基準は、特定の階に偏ることなく設けることその他の多数の限

の建築物の管理運営上多数の者が利用する便所を設けないことがやむを得ないと認められるイー多数の者が利用する部分の床面積が著しく小さい階、多数の者の滞在時間が短い階その他が同一敷地内の当該上入口に近接する位置にあるもの

ア 直接地上へ通ずる出入口のある階であって、多数の者が利用する便所を一以上設ける施設当する数以上を設けるものでなければならない。

① 多数の者が利用する便所の数は、多数の者が利用する階(次に掲げる階を除く。)の階数に相任 多数の者が利用する便所は、次に掲げるものでなければならない。

八 便所

る多数の者が利用する便所のみを設けるものを除く。)の階数に相当する数を超える場合にあの端数を切り捨てた数) (千平方メートル未満の便所設置階 (車椅子使用者用便房のみを設け満の階の床面積の合計に千分の一を乗じて得た数 (その数に一未満の端数があるときは、そエ 床面積が千平方メートル未満の便所設置階を有する建築物に、床面積が千平方メートル未

回回に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、女子用の車椅子所のうち一以上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、

第一大子用の多数の者が利用する便所のみを設ける便所設置階 当該多数の者が利用する便使用者用便房を一以上設ける場合

闫山に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、男子用の車椅子所のうち一以上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、

- の 男子用の多数の者が利用する便所のみを設ける便所設置階 当該多数の者が利用する便り 次のの又はいに掲げる便所設置階の区分に応じ、当該の又はいに定める場合
 - を、当該便所設置階以外の便所設置階の多数の者が利用する便所に設ける場合
- 伊所設置階の多数の者が利用する便所に設けるべき車椅子使用者用便房の全部又は一部一以上)設ける施設が同一敷地内の当該出入口に近接する位置にある場合
- 上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれア 便所設置階が直接地上へ通ずる出入口のある階であり、かつ、車椅子使用者用便房を一以ずをものとする
- ② 車椅子使用者が車椅子使用者用便房を利用する上で支障がないものは、次のいずれかに該当の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)
- イ 便所設置階の床面積が四万平方メートルを超える場合 当該床面積に相当する数に二万分
 - ア 便所設置階の床面積が一万平方メートルを超え、四万平方メートル以下の場合 二一

- ② 大便器は、一以上を腰掛式とすること。
 - 田には、段差を設けないこと。

げる構造としなければならない。

上(当該便所に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)は、吹に掲 田 ①から囲までに定めるもののほか、①の規定により設ける多数の者が利用する便所のうち一以 ない。

該便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)設けなければなら は、高齢者、障害者等が円滑に利用することができる構造の水洗器具を設けた便房を一以上(当 四 □及び闫に定めるもののほか、□の規定により設ける多数の者が利用する便所のうち一以上に

示すること。

エ 車椅子使用者用便房及び便所の出入口には、当該車椅子使用者用便房の設備及び機能を表

- ウ 一般用の便所に近接し、分かりやすく利用しやすい位置に設けること。 **イ** 車椅子使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間が確保されていること。
 - ア 腰掛便座、手すり等が適切に配置されていること。
 - ③ 車椅子使用者用便房は炊に掲げる構造のものとする。

便房)を設ける場合

のに限る。)に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使用者用 子用の多数の者が利用する便所及び女子用の多数の者が利用する便所を設ける階に設けるも 用者用便房)の数を差し引いた数)以上の車椅子使用者用便房 (当該車椅子使用者用便房 (男 椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使 する位置にある場合にあっては、当該教から当該施設に設ける車椅子使用者用便房(当該車 設置階に設けるべき車椅子使用者用便房の数を加えた数(臼内に規定する施設が臼内に規定 っては、当談階数に相当する数)に口本文の規定により床面積が干平方メートル以上の便所

便器に手すりを設けなければならない。

が三十五センチメートル以下のものに限る。)その他これらに類する小便器を一以上設け、当該小 男子用小便器を設けるもののうち一以上には、床置式の小便器、壁掛式の小便器(受け口の高さ 以 口から国までに定めるもののほか、〇の規定により設ける多数の者が利用する便所であって、

図 腰掛式とした大便器の一以上に、手すりを設けること。

breconn.

車施設の総数)の合計数が○に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上を二以上設ける場合にあっては、当該多数の者が利用する駐車場に設ける車椅子使用者用駐者が利用する駐車場に設ける車椅子使用者用駐車施設の数(当該多数の者が利用する駐車場ける場合にあっては、当該多数利用機械式駐車場に設ける駐車施設の総数)及び当該多数のイ 当該多数利用機械式駐車場に設ける駐車施設の数(当該多数利用機械式駐車場を二以上設がごより上設けられていること・

ア 当該多数利用機械式駐車場の出入口の部分に車椅子使用者が円滑に自動車に乗降することける場合であって、狄に掲げる基準に適合する場合

- ② 多数利用機械式駐車場及び当該多数利用機械式駐車場以外の多数の者が利用する駐車場を設円滑に自動車に乗降することが可能な場所が一以上設けられている場合
- (以下「多数利用機械式駐車場」という。)であり、かつ、その出入口の部分に車椅子使用者が分数の者が利用する駐車場が昇降機その他の機械装置により自動車を駐車させる構造のもの 適用しない。
- 〇 川の規定は、車椅子使用者が駐車場を利用する上で支障がないものとして次に掲げる場合は、て得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)に二を加えた数
- ② 当該駐車場に設ける駐車施設の数が二百を超える場合 当該駐車施設の数に百分の一を乗じ一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)
- に設ける駐車施設の総数。②において同じ。)が二百以下の場合 当該駐車施設の数に五十分の① 当該駐車場に設ける駐車施設の数(当該駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該駐車場の車椅子使用者用駐車施設を設けなければならない。
- 多数の者が利用する駐車場には、次に掲げる場合の区分に応じ、当該①又は②に定める数以上

十一 駐車場

導表示を設けなければならない。

駐車施設又はその付近に、当該車椅子使用者用駐車施設から利用居室等までの経路についての誘回 多数の者が利用する駐車場に車椅子使用者用駐車施設を設ける場合には、当該車椅子使用者用までの経路の長さができるだけ短くなる位置に設けること。

室等」という。当該建築物に利用居室等が設けられていないときは、道等。멜において同じ。) ② 当該車椅子使用者用駐車施設から多数の者が利用する居室等(以下この項において「利用居印 「幅は、三百五十センチメートル以上とすること。

- 国 車椅子使用者用駐車施設は、次に掲げるものでなければならない。
- イ 当該政修に係る部分に多数の者が利用する駐車場を設けない場合 ときは、その端数を切り上げた数)に二を加えた数

超える場合 当該駐車施設の数に百分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数がある

り 当該改修に係る部分に設ける多数の者が利用する駐車場に設ける駐車施設の数が二百をきは、その端数を切り上げた数)

の場合 当該駐車施設の数に五十分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるとが利用する駐車場に設ける駐車施設の総数。以下この所及びMにおいて同じ。)が二百以下修に係る部分に多数の者が利用する駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該多数の者の当該改修に係る部分に設ける多数の者が利用する駐車場に設ける駐車施設の数(当該改

今の区分に応じ、当該の又は何に定める数 ア 当該改修に係る部分に多数の者が利用する駐車場を設ける場合 次の♂又は旬に掲げる場

数以上の車椅子使用者用駐車施設を多数の者が利用する駐車場に設ける場合 ⑤ 改修を行う場合であって、次のアスはイに掲げる場合の区分に応じ、当該アスはイに定める

同項 路 室が観覧席又は客席である場合にあっては、 す使用者用客室」 别 該利 の下に 表 を加え、 (3) 第 崩 居 車 室 (当該利用居室が観覧席又は客席である場合にあっては、 同項(-)(2) 13 が 0 す 観 項 を 使用者用駐車 覧席又は 中 「車椅子使用者用客室」に改め、 中 す 「車いす使用者用便房」 ベ 客席であ て -施設 を 「全て」 る場 を 車椅子使用者用経路を含む。 合に 車椅子使用 に あって 改 を め 「車椅子使用者用便房」 は 者用 同 経路」の下に 項 車 駐車施設 (-)(1).椅 子使用者 中 経 車椅子使用者用 「(当該利用 に改)」を加え、 路 用 に、 経 め、 路 0) を含 車 13

経路を含む。

) 」を加え、

同表八の項を次のように改める

車椅子使用者用便房を一以上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合 においては、当該便所のうち一以上(次に掲げる①の場合にあっては、①に定める数以上)に、

- 八の規定により不特定多数利用便所を設ける階(以下この項において「便所設置階」という。) 上)設けなければならない。
- 上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以 □ 不特定多数利用便所を設ける場合には、当該便所のうち一以上に、車椅子使用者用便房を一以
 - ② 不特定多数利用便所の床の表面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。 の者等が利用する上で支障がない位置に設けることとする。
- ② 不特定多数利用便所の配置基準は、特定の階に偏ることなく設けることその他の不特定多数 他の建築物の管理運営上不特定多数利用便所を設けないことがやむを得ないと認められる階 いう。)が利用する部分の床面積が著しく小さい階、不特定多数の者等の滞在時間が短い階その らに類する施設でない施設にあっては多数の者)(以下この項において「不特定多数の者等」と 令(平成十八年政令第三百七十九号)第五条第一号に定める公立小学校等を除く。)その他これ 十九号に定める特別特定建築物(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成十八年法律第九十一号)第二条第 イ 不特定かつ多数の者又は高齢者、障害者等(別表第二 一の部及び二の部の都市施設のうち、
- 敷地内の当該出入口に近接する位置にあるもの 直接地上へ通ずる出入口のある階であって、不特定多数利用便所を一以上設ける施設が同一
- する数以上を設けるものでなければならない。 ① 不特定多数利用便所の数は、これらの者が利用する階(次に掲げる階を除く。)の階数に相当 おいて「不特定多数利用便所」という。)は、次に掲げるものでなければならない。
- 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する便所(以下この項に)

便所 \geq

下

- 一以上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、闩山に掲り 女子用の不特定多数利用便所のみを設ける便所設置階 当該不特定多数利用便所のうち便房を一以上設ける場合
- げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、男子用の車椅子使用者用一以上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、闫山に掲
- の男子用の不特定多数利用便所のみを設ける便所設置階 当該不特定多数利用便所のうちり 次のの又は的に掲げる便所設置階の区分に応じ、当該の又は的に定める場合
 - 該便所設置階以外の便所設置階の不特定多数利用便所に設ける場合
- 伊所設置階の不特定多数利用便所に設けるべき車椅子使用者用便房の全部又は一部を、当一以上)設ける施設が同一敷地内の当該出入口に近接する位置にある場合
- 上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれア 便所設置階が直接地上へ通ずる出入口のある階であり、かつ、車椅子使用者用便房を一以するものとする。
- ② 車椅子使用者が車椅子使用者用便房を利用する上で支障がないものは、次のいずれかに該当の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)
- イ 便所設置階の床面積が四万平方メートルを超える場合 当該床面積に相当する数に二万分ア 便所設置階の床面積が一万平方メートルを超え、四万平方メートル以下の場合 二一の数とする。

用者用便房のみを設けるものを除く。)の数を超える場合にあっては、当該不特定多数利用便所のア又はイに定める数。ただし、当該数が便所設置階に設ける不特定多数利用便所(車椅子使出)当該階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、当該床面積の区分に応じ、次便房を利用する上で支障がないものとして次に掲げる②の場合は、この限りでない。

にあっては、それぞれ一以上)設けなければならない。ただし、車椅子使用者が車椅子使用者用

- は、ベビーチェアその他の乳幼児を座らせることができる設備を設けた便房を一以上(当該便房田 □から멜までに定めるもののほか、□の規定により設ける不特定多数利用便所のうち一以上に房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)設けなければならない。高齢者、障害者等が円滑に利用することができる構造の水洗器具を設けた便房を一以上(当該便
- 回 □及び回に定めるもののほか、□の規定により設ける不特定多数利用便所のうち一以上には、不事格子使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間が確保されていること。
 - ア 腰掛便座、手すり等が適切に配置されていること。
 - ③ 車椅子使用者用便房は次に掲げる構造のものとする。

ロンを持ってい

に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使用者用便房)を設用の不特定多数利用便所及設女子用の不特定多数利用便所を設ける階に設けるものに限る。) 用便房)の数を差し引いた数)以上の車椅子使用者用便房(当該車椅子使用者用便房(男子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使用者位置にある場合にあっては、当該数から当該施設に設ける車椅子使用者用便房(当該車椅子降門。1、当該階数に相当する数)に日本文の規定により床面積が千平方メートル以上の便所設置る不特定多数利用便所のみを設けるものを除く。)の階数に相当する数を超える場合にあっての端数を切り捨てた数)(千平方メートル未満の便所設置階(車椅子使用者用便房のみを設けるものを除く。)の階数に相当する数を超える場合にあっての端数を切り捨てた数)(千平方メートル未満の便所設置階(車椅子使用者用便房のみを設けの階級を切りたた数)(千平方メートル未満の便所設置階(車椅子使用者用便房のみを設け地の階級を切り上の場別に一大満の階級をありませ、そ

げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、女子用の車椅子使用者用

の出入口には、その旨の表示を行わなければならない。

ない。

十五センチメートル以下のものに限る。)その他これらに類する小便器を一以上設けなければなら用小便器を設けるもののうち一以上には、床置式の小便器、壁掛式の小便器(受け口の高さが三円から宍までに定めるもののほか、戸の規定により設ける不特定多数利用便所であって、男子

おなければならない(他におむつ交換ができる場所を設ける場合を除く。)。 わなければならない(他におむつ交換ができる場所を設ける場合を除く。)。 ドその他の乳幼児のおむつ交換ができる設備を設け、当該便所の出入口には、その旨の表示を行

該便所に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)には、ベビーベッツ 口から田までに定めるもののほか、闩の規定により設ける不特定多数利用便所のうち一以上 (当

に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)設け、当該便房及び便所

(日) 集団補聴設備その他の高齢者、障害者等の利用に配慮した設備を設けること。

エ 車椅子使用者のサイトライン(可視線)に配慮した位置に設けること。

ウー床は平らとすること。

イ奥行きは、百三十五センチメートル以上とすること。

ア幅は、九十センチメートル以上とすること。

② 車椅子使用者用部分の基準は、次に掲げるものとする。

乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)

イ 当該観覧席又は客席に設ける座席の数が四百を超える場合 当該座席の数に二百分の一を

ア 当該観覧席又は客席に設ける座席の数が四百以下の場合 二

① 車椅子使用者用部分の数は、次に掲げるものとする。

らない。

① しに掲げる場合の区分に応じ、当該区分に定める数以上の車椅子使用者用部分を設けなければに掲げるものでなければならない。

不特定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する観覧席又は客席は、次

十一 観覧席・客席

数以上であること。

者用駐車施設の総数)の合計数が刊に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める利用駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該不特定多数利用駐車場に設ける車椅子使用数)及び当該不特定多数利用駐車場に設ける車椅子使用者用駐車施設の数(当該不特定多数利用機械式駐車場に設ける駐車施設の総場を二以上設ける場合にあっては、当該不特定多数利用機械式駐車場に設ける駐車施設の総イ 当該不特定多数利用機械式駐車場に設けら駐車施設の数(当該不特定多数利用機械式駐車場に設けられていること。

ア 当該不特定多数利用機械式駐車場の出入口の部分に車椅子使用者が円滑に自動車に乗降す車場を設ける場合であって、次に掲げる基準に適合する場合

- ② 不特定多数利用機械式駐車場及び当該不特定多数利用機械式駐車場以外の不特定多数利用駐に車椅子使用者が円滑に自動車に乗降することが可能な場所が一以上設けられている場合下この頃において「不特定多数利用機械式駐車場」という。)であり、かつ、その出入口の部分① 不特定多数利用駐車場が昇降機その他の機械装置により自動車を駐車させる構造のもの(以適用しない。
- 〇 川の規定は、車椅子使用者が駐車場を利用する上で支障がないものとして次に掲げる場合は、て得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)に二を加えた数
- 図 当該駐車場に設ける駐車施設の数が二百を超える場合 当該駐車施設の数に百分の一を乗じ一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)に設ける駐車施設の総数。②において同じ。)が二百以下の場合 当該駐車施設の数に五十分の川 当該駐車場に設ける駐車施設の数(当該駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該駐車場に定める数以上の車椅子使用者用駐車施設を設けなければならない。

において「不特定多数利用駐車場」という。)には、次に掲げる場合の区分に応じ、当該①又は②()、本権定かつ多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する駐車場(以下この項)

十三 駐車場

を設けなければならない。

施設又はその付近に、当該車椅子使用者用駐車施設から利用居室までの経路についての誘導表示
四 不特定多数利用駐車場に車椅子使用者用駐車施設を設ける場合には、当該車椅子使用者用駐車 は、道等。四において同じ。) までの経路の長さができるだけ短くなる位置に設けること。

- ② 当該車椅子使用者用駐車施設から利用居室(当該建築物に利用居室が設けられていないとき
 - ① 幅は、三百五十センチメートル以上とすること。
 - 回 車椅子使用者用駐車施設は、次に掲げるものでなければならない。
 - イ 当該改修に係る部分に不特定多数利用駐車場を設けない場合 一

る場合 当該駐車施設の数に百分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるとき

は、その端数を切り上げた数)に二を加えた数

り 当該改修に係る部分に設ける不特定多数利用駐車場に設ける駐車施設の数が二百を超え数を切り上げた数)

駐車施設の数に五十分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端車場に設ける駐車施設の総数。以下このM及びMにおいて同じ。)が二百以下の場合 当該係る部分に不特定多数利用駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該不特定多数利用駐車場に設ける最重施設の数(当該改修に係る部分に設ける不特定多数利用駐車場に設ける駐車施設の数(当該改修に

区分に応じ、当該の又は印に定める数 ア 当談改修に係る部分に不特定多数利用駐車場を設ける場合 次のの又は印に掲げる場合の

数以上の車椅子使用者用駐車施設を不特定多数利用駐車場に設ける場合

③ 改修を行う場合であって、次のア又はイに掲げる場合の区分に応じ、当該ア又はイに定める

車

する便所の教とする。

子使用者用便房のみを設けるものを除く。)の数を超える場合にあっては、当該多数の者が利用のア又はイに定める数。ただし、当該数が便所設置階に設ける多数の者が利用する便所(車椅) 当談階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、当談床面積の区分に応じ、吹者用便房を利用する上で支障がないものとして次に掲げる②の場合は、この限りでない。

場合にあっては、それぞれ一以上)設けなければならない。ただし、車椅子使用者が車椅子使用に、車椅子使用者用便房を一以上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設けるう。)においては、当該便所のうち一以上(狄に掲げる①の場合にあっては、①に定める数以上)

- 〇月の規定により多数の者が利用する便所を設ける階(以下この項において「便所設置階」とい一以上)設けなければならない。
- 一以上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ口 多数の者が利用する便所を設ける場合には、当該便所のうち一以上に、車椅子使用者用便房を
- 3 多数の者が利用する便所の床の表面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。者が利用する上で支障がない位置に設けることとする。
- ② 多数の者が利用する便所の配置基準は、特定の階に偏ることなく設けることその他の多数のる路

他の建築物の管理運営上多数の者が利用する便所を設けないことがやむを得ないと認められイ 多数の者が利用する部分の床面積が著しく小さい階、多数の者の滯在時間が短い階、そのが同一敷地内の当該出入口に近接する位置にあるもの

ア 直接地上へ通ずる出入口のある階であって、多数の者が利用する便所を一以上設ける施設当する数以上を設けるものでなければならない。

① 多数の者が利用する便所の数は、多数の者が利用する階(次に掲げる階を除く。)の階数に相

「多数の者が利用する便所は、次に掲げるものでなければならない。

八 便所

る多数の者が利用する便所のみを設けるものを除く。)の階数に相当する数を超える場合にあの端数を切り捨てた数) (干平万メートル未満の便所設置階(車椅子使用者用便房のみを設け満の階の床面積の合計に干分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、そ

- 高の皆の末面漬の合計と千分の一を乗じて早と数(その数と一末前の指数があるときは、そエ 床面積が千平方メートル未満の便所設置階を有する建築物に、床面積が千平方メートル未使用者用便房を一以上設ける場合
- 回回に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、女子用の車椅子所のうち一以上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを超える場合にあっては、
- 5 女子用の多数の者が利用する便所のみを設ける便所設置階 当該多数の者が利用する便使用者用便房を一以上設ける場合
- 〇川に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上)に、男子用の車椅子所のうち一以上(当該便所設置階の床面積が一万平方メートルを越える場合にあっては、
- の 男子用の多数の者が利用する便所のみを設ける便所設置階 当該多数の者が利用する便り 次のの又はいに掲げる便所設置階の区分に応じ、当該の又はいに定める場合
 - を、当該便所設置階以外の便所設置階の多数の者が利用する便所に設ける場合
- 4.便所設置階の多数の者が利用する便所に設けるべき車椅子使用者用便房の全部又は一部一以上)設ける施設が同一敷地内の当該出入口に近接する位置にある場合
- 上(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれア 便所設置階が直接地上へ通ずる出入口のある階であり、かつ、車椅子使用者用便房を一以するものとする。
- ② 車椅子使用者が車椅子使用者用便房を利用する上で支障がないものは、次のいずれかに該当の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)
- イ 便所設置階の床面積が四万平方メートルを超える場合 当該床面積に相当する数に二万分ア 便所設置階の床面積が一万平方メートルを超え、四万平方メートル以下の場合 二

ならない。

が三十五センチメートル以下のものに限る。)その他これらに類する小便器を一以上設けなければ男子用小便器を設けるもののうち一以上には、床置式の小便器、壁掛式の小便器(受け口の高さ田)口から興までに定めるもののほか、门の規定により設ける多数の者が利用する便所であって、

該便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれ一以上)設けなければならは、高齢者、障害者等が円滑に利用することができる構造の水洗器具を設けた便房を一以上(当回)口及び闩に定めるもののほか、一つ規定により設ける多数の者が利用する便所のうち一以上に不 車椅子使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間が確保されていること。

ア 腰掛便座、手すり等が適切に配置されていること。

③ 車椅子使用者用便房は次に掲げる構造のものとする。

便房)を設ける場合

のに限る。)に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使用者用子用の多数の者が利用する便所及び女子用の多数の者が利用する便所を設ける略に設けるも用者用便房)の数を差し引いた数)以上の車椅子使用者用便房(当該車椅子使用者用便房(男務子使用者用便房)の数を差し引いた数)以上の車椅子使用者用便房(当該車椅子使用者用便房に男子用及び女子用の区別を設ける場合にあっては、それぞれの車椅子使する位置にある場合にあっては、当該数から当該施設に設ける車椅子使用者用便房(当該車設置時に設けるべき車椅子使用者用便房の数を加えた数(②のに規定する施設が②のに規定つては、当該階数に相当する数)に日本文の規定により床面積が千平方メートル以上の便所っては、当該階数に相当する数)に日本文の規定により床面積が千平方メートル以上の便所

る

数以上の車椅子使用者用駐車施設を多数の者が利用する駐車場に設ける場合

③ 改修を行う場合であって、次のアヌはイに掲げる場合の区分に応じ、当該アヌはイに定める 648197°

車施設の総数)の合計数が刊に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該区分に定める数以上 を二以上設ける場合にあっては、当該多数の者が利用する駐車場に設ける車椅子使用者用駐 者が利用する駐車場に設ける車椅子使用者用駐車施設の数(当該多数の者が利用する駐車場 ける場合にあっては、当該多数利用機械式駐車場に設ける駐車施設の総数)及び当該多数の イ 当該多数利用機械式駐車場に設ける駐車施設の数(当該多数利用機械式駐車場を二以上設 が可能な場所が一切上設けられていること。

ア 当該多数利用機械式駐車場の出入口の部分に車椅子使用者が円滑に自動車に乗降すること ける場合であって、次に掲げる基準に適合する場合

- ⑵ 多数利用機械式駐車場及び当該多数利用機械式駐車場以外の多数の者が利用する駐車場を設 降することが可能な場所が一以上設けられている場合
- ① 多数利用機械式駐車場であり、かつ、その出入口の部分に車椅子使用者が円滑に自動車に乗 適用しない。
- 「一〇月定は、車椅子使用者が駐車場を利用する上で支障がないものとして次に掲げる場合は、 て得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)に二を加えた数
- ② 当該駐車場に設ける駐車施設の数が二百を超える場合 当該駐車施設の数に百分の一を乗じ 一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があるときは、その端数を切り上げた数)
- に設ける駐車施設の総数。囚において同じ。)が二百以下の場合 当該駐車施設の数に五十分の ① 当該駐車場に設ける駐車施設の数(当該駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該駐車場 の車椅子使用者用駐車施設を設けなければならない。
- □ 多数の者が利用する駐車場には、次に掲げる場合の区分に応じ、当該①又は②に定める数以上

十一 駐車場

表示を設けなければならない。

駐車施設又はその付近に、当該車椅子使用者用駐車施設から利用居室までの経路についての誘導 四 多数の者が利用する駐車場に車椅子使用者用駐車施設を設ける場合には、当該車椅子使用者用 での経路の長さができるだけ短くなる位置に設けること。

室等」という。当該建築物に利用居室が設けられていないときは、道等。側において同じ。)ま

- ② 当該車椅子使用者用駐車施設から多数の者が利用する居室等(以下この項において「利用居」
 - ① 幅は、三百五十七ンチメートル以上とすること。
 - 回 車椅子使用者用駐車施設は、次に掲げるものでなければならない。
 - イ 当該改修に係る部分に多数の者が利用する駐車場を設けない場合 一 ときは、その端数を切り上げた数)に二を加えた数

超える場合 当該駐車施設の数に百分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数がある 当該改修に係る部分に設ける多数の者が利用する駐車場に設ける駐車施設の数が二百を きは、その端数を切り上げた数)

の場合 当該駐車施設の数に五十分の一を乗じて得た数(その数に一未満の端数があると が利用する駐車場に設ける駐車施設の総数。以下この所及び的において同じ。)が二百以下 修に係る部分に多数の者が利用する駐車場を二以上設ける場合にあっては、当該多数の者 団 当該改修に係る部分に設ける多数の者が利用する駐車場に設ける駐車施設の数(当該改) 合の区分に応じ、当該の又は何に定める数

ア 当該故修に係る部分に多数の者が利用する駐車場を設ける場合 次の団又は印に掲げる場

別記第五号様式を次のように改める。

別記第二号様式中「福祉のまちづくり整備基準2023」を「福祉のまちづくり整備

第5号様式(第9条関係) (第1片)

	(C) C C C C C C C C C C C C C C C C C C	(④) サイトライン (可視線) に配慮した位置 2 集団補聴設備等、高齢者、障害者等の利用に	
### 1 2		中の 中の Louiser Alloeiiを上	
### ### ### ### ### ### ### ### ### #		90cm	
### (2012년 1	(の数が400以下の場合2以上、400を超え		護衛席・谷居(※4)
### (がで産り		
## 20	ユーロの幅(開放時有効)75cm(客室面積15㎡未満の場合は70cm)	1以上の便所及	
### 199	を併設している場合は、この限り	\top	
# 第 99	860	101	
### ### ### #########################	用者が祭りに開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低	② 出入口幅 (開放時有効)80cm以上③ 戸は自動的に開閉する構造その(
整備内容	げるも	椅子使用者 車椅子使用	
要なり (主面は相面、又は滑りにくい仕上げ (2 他の病族又は海豚のとはは上がしたのとなったのとながといことで院を容易に識別可能 (4 使みの変数とは海豚がの上海に活躍する部分に点状プロック等(※9)を敷設 (4 使みの変数とは海豚がの上海に活躍する部分に点状プロック等(※9)を敷設 (4 使みの変数とは、その他の主きでの原因となるものを設けない構造 (4 使みの変数とは、その他の主きでの原因となるものを設けない構造 (4 使みの変数とは、その他の主きでの原因となるものを設けない構造 (4 使みの変数とは、その他の主きでの原因となるものを設けない構造 (4 使みの変数とは、その他の主きでもの原因となるものを設けない構造 (4 使みの変数とは、その他の主きでもの原因となるものを設けない構造 (4 使みの変数とは、その他の主きでもの原因となるものを設けない構造 (4 使みの変数とは、その他の主きでもの原因となる性が大きいことでその存在を容易に識別可能 (4 使みの変数とは、その他の主きでもの原因となる性が大きいことでその存在を容易に識別可能 (4 したの性の変は、場の機がは日本でも強いとは、上上接触 (4 したの性の変は、場の機がは日本でも強いとないとは、上上接触 (4 したのを設け、場面がたいとは、それで表しませんである部分に手引のの表しまではませんの形に対しまがしていましまがした。 それでも場合で、は影響の利用部分の球面積が10 00の社会とぬ 00のは対での場合と良いとは、上接触の場合はあるでの数よりかない構造は、明定接触の数よいとないのののではますることは、以上接触 (4 したのを設け、場面が大きなが、10 とは、上上接触 (4 したの変数とは、とは、10 とは、上は機能のは、10 ののはとないののは、場のののは、場のの数とは、10 には、10 とも 10 には、10 とも 10 には、10 には	・る便所の出入口幅(開放時有効)80cm以上 が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に	車橋子使用 戸は自動的	
要 9	Delines and the Company of the Compa	使所内に車	Ŭ H
	合、車椅子使用者用客室を客室総数の1/100以上設置	宿泊施設で客室の総数が50以上の	宿泊施設の を必
# 2	子(中国者が突易に開開し、) 「大き用者なななななななななななななななななななななななななななななななななななな	/幅(開放時有 /的に開閉する	
# 2	04 8	子使用者等が円滑に利用で	
# 整備内容 表面は相面、又は滑りにくい仕上げ	1以上設置(男	× 100	
#	式は、受け口の高さ35cm以下)を1以 上げ	器を設ける場合、床置 表面は粗面、又は滑り	浴室等(※3)
業備内容 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	以上(男女別の場合それぞれ1以上)政置、使男女び使所の出入口にその旨表示 の場合それぞれ1以上)設置(他におむつ交換ができる場所を設ける場合を除く)、使所の出入口に		
業権内容 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	(置されている便房を1以上設置	1	
# 第	3分の床面積が1,000㎡未満の階(小規模階)を有する場合は当該階の利用部分の床面積の合計が1, (便所設置階の数がこの数より少ない場合は、便所設置階の数以上設置)		
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	ジの水面積が10,000点超火の路(大規模路)を有する場合で、当城路の利用指分の床面積が10,以上、当城路の利用指分の床面積が40,000点超える場合20,000点ごとに1以上を追加(当城路の使、近路の使、彼所の数以上設置)		
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	(上) (次に掲げる場合にあってはその数以上) に車椅子使用者用便房を1以上 (男女別の場合はそ		
# 第			
# # *** ***	位置に設置		
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		1 便所は次に掲げるもの 無限の素は 無の異常に抽出す	便所(※2)
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	又は彩度の差が大 に点状プロック等	を色の明度、f こ近接する踊り	設する傾斜路
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	える傾斜がある部 げ	1/12を超え火は尚さ16cm/ は粗面、又は滑りにくい	階段に代わり、又はこれに併
第	、 C40-C40	0cm以上(手寸)	
(項目	44	場に、手すりの設置	
ポエック	er.	は回り階級でないこと1以上は、次に掲げる	
ポエック	こ点状プロック等(※9)	こ近接する	
デエック	当相又は彩度の差が大きいことで段を容易に となるものを設けない構造	その周囲としたの名(
(元) (元		がある部分に、キずりの設置 面は粗面、又は滑りにくい仕。	階段
	, -る部分に点状プロッ	面は粗面、又は滑りにくい)階段又は傾斜路の上端に	展下報
			整備項目
へ特定者 2、13多数の名が利用し、又は主として何能者、陳告者寺が利用するもの(参鄭寺田宿に群路寺を召む) (徳)不特定から多数の者が利用し、又は主として何覚媚者者が利用するもの		个特定有し、は多数の者が利用し、又は主とし (視)不特定かつ多数の者が利用し、又は主とし、 」	(祭)努力基準
(鐵) 選予基準 (税) 不特定かつ多数の者が利用し、又は主として税党障害者が利用するもの (物) 不特定かつ多数の者が利用する 世築物 (圧面積2,000mで以上)	、て視覚障害者が利用するもの 面辨2.00mm以上)	(特)不特定から多数の者が利用する建築物(床面	

 整備項目 第 第 出入口 	(放)放士共善	不特)	超	\sim	不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用するもの(移動等円滑化経路等を含む)
 新規目 チェック (※6) <l< th=""><th></th><th>(視)~</th><th>(特)</th><th>Ezi</th><th></th></l<>		(視)~	(特)	Ezi	
選		H	79		松的轉換
中 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	_	御	**		
新 (※ 6) 20 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	口文田	1		_	
様 (※の) - 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1			自動的に開閉するほか、車椅子使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし
((((((((((((((((((((((((((((((((((((4、1	1			の上下端に近接する部分に点状プロック等(※9)を敷設
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1			傾斜路の上端に近接する部分に点状プロック等(※9)を敷設
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	母段	1			場を含め、手すりの設置
(※の) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					上下端に近接する踊り場の部分に点状プロック等(※9)を敷設
語版の (※ 6 m)		1			
(深ら) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1			り場を含め、両側に手すりの設置
新設の 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					りの設置
(※6)(※6)(※6)(※6)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)(※7)<td>大は 1/67円 設する傾斜路</td><td> </td><td></td><td>_</td><td>傾斜の上端に近接する踊り場に点状プロック等(※9)を敷設(自動車の駐車</td>	大は 1/67円 設する傾斜路			_	傾斜の上端に近接する踊り場に点状プロック等(※9)を敷設(自動車の駐車
議員の - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	便所(※6)	1			子使用者用便房(※16)を1以上設置
新費 3		1			所のうち1以上
施設の 3 8 9 9 9 1 1 1 1 1 3 3 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		1			特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する る場合で、当該階の利用部分の床面積が10,000㎡超え40,000㎡以下の場合 合20,000㎡ごとに1以上を追加(当該階の便所の数がこの数より少ない場)
3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		- 1			特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等等が利用する場合は当該階の利用部分の床面積の合計が1,000㎡に達するごとに1と便所設置階の数以上設置)
施設の (2 2 3 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		1			掲げる便所(車椅子使用者用便房を除く)を1以上設置(男女別の場合はそれ
施設の - 2 - 1 - 2 3 3		1		Θ	面には段差を設けない
施設の - 1 - 1 - 2 - 3		1		0	便器は1以上を腰掛け式
施設の — 1 — 2 — 3		1		@	掛式とした大便器及び小便器に手すりの設置(それぞれ1以上)
	宿泊施設の	1			子使用者用客室を、全室数が200以下の場合は1/50以上、全室数が200を起
	松田	1			子使用者用客室の便所は次に掲げるもの
		1		Θ	面は粗面、又は滑りにくい仕上げ
		1			子使用者用客室の浴室等は次に掲げるもの

Committee of the second	1	1	
整備項目	チェック	4.	後衛内後
	崖	拨	
階段に代わり		1	1 勾配1/12を超え又は高さ16cmを超える傾斜がある部分に手すりの設置
又はこれに併		1	2 表面は粗面、叉は滑りにくい仕上げ
設する傾斜路		4	
			4 幅 120cm以上(階段に併設する場合は90cm以上)
		4	5 勾配 1/12以下(高さ16cm以下の場合は1/8以下)
		1	6 高さが75cmを超えるものは、75cm以内ごとに路幅150cm以上の踊り場を設置
		1	7 両側に側壁叉は立上りの設置
		Ш	8 始点、終点に車椅子使用者が安全に停止できる平坦な部分の設置
ーターシイエ			1 各一般客室、車椅子使用者用便房、車椅子使用者用駐車施設のある階、地上階に停止すること
及びその		_	2 籠・昇降路の出入口の幅 (開放時有効) 80cm以上
機	_	1	3 籠の奥行き 115cm以上
		1	4 乗降ロビーは高低差なく、幅及び奥行き 150cm以上
		1	5 籠及び乗降ロビーに、車椅子使用者が利用しやすい位置に制御装置の設置
			6 縮内に、停止予定階、龍の現在位置を表示する装置の設置
		1	7 乗降ロビーに、到着する籠の昇降方向を表示する装置の設置
特殊な構造又			1 エレベーターにあっては次に掲げるもの
は使用形態の		1	① 平成12年建設省告示第1413号第1第9号に規定するもの
昇降機		1	② 籠の幅 70cm以上 かつ 奥行き 120cm以上
		1	③ 車椅子使用者が籠内で方向転換の必要がある場合は、籠の幅・奥行きが十分確保されていること
		_	0 F 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

				(*)
地内の通路	_		- 編	前 140cm以上
	_	12		戸は自動的に開閉する構造その他の車椅子使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし
	_	_	3 /	傾斜路は次に掲げるもの
		Θ		幅 140cm以上 (階段に併設する場合は90cm以上)
	_	(6)	8	勾配 1/20以下
		(3)	8	手すりの設置
	H	⊕	9	両側に側壁又は立上りの設置
	_)	<u></u>	17. 〒 - 3. 〒1. 井花 1. 〒日東 2. 5. 4. 5. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.

(日本産業規格A列4番)

海

18

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	28	保通館のの向*を超える場合 龍の橋 160cm以上 車椅子の転回に支降のない構造 離がに、到着する際、艦・昇降路の出入口の戸の閉鎖を知らせる音声装置の 離がに、到着する際、艦・昇降路の出入口の戸の閉鎖を知らせる音声装置の 観、乗降ロビーの閉御装置 車椅子使用者が利用しやすい位置等以上、点字等 観又は乗降ロビーに到着する艦の昇降力的を知らせる音声装置の設置 その他、高端者、観響者等が気障なく利用できる構造(※17) 銀貨路は次に掲げるもの			
- ① 同様の場合があり上、200と観え2,000以上の場合1/100+2以上設置 - ○ 日	29	「民間質8.00mで必起える場合、確の値 160cm以上 申様子の転回に支援のない機造 職内に、到着する際、艦・昇降路の出入口の戸の開戦を知らせる音声装置の 艦・乗降ロビーの制御装置(単格子使用者3.5月日、やすい位置等)は、点字等 観又は実験ロビーの制御装置(単格子使用者3.5月日、やすい位置等)は、点字等 観又は実験ロビーに到着する他の解析方向を加め、七名音声装置の設置 その他、減齢者、順告者等が又勝なく利用できる構造(※17)	1111		敷地内の通路
以下の場合(おの以上、200を超え2,000以上の場合)1/00+2以上設置	28	「展面質のので必定さる場合、確の値(160cm以上 単格子の転回に支援のない特定 順がに、到着する際、際、早階部の出入口の戸の問題を知らせる音声装置の に表して一の助御装置(単格子使用者が利用とやすいな歴等)は、点字等 版文は単降ロビーの助御装置(単格子使用者が利用とやすいな歴等)は、点字等		_	
- ① 同様の最近(50以上、200を超え2,000以下の場合(1)00+2以上設置 - ② 関係の数が200以上の場合と1、200を超え2,000以下の場合(1)00+2以上設置 - 1 段がある部分は次に掲げるもの - 1 日表がある部分は次に掲げるもの - ② 関係の数が200以上の場合とは、単様子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 2 関係部分は次に掲げるもの - ② 関係部分は次に掲げるもの - 2 関係部分は次に掲げるもの - 1 車椅子使用者指昇車施設を発車施設の総数の1/50以上設置 - 2 事椅子使用者指昇車施設とを指す施設の総数の1/50以上設置 - 1 選挙から第分は機(201所である場合は201円数で乗りて一定開始の上が、上で次り管理者を影響を開発し設置 - 3 事権子使用者指昇車施設とは対応に掲げる。 - 3 事権子使用者指昇車施設とは対応に掲げるよう場合は201円数で乗りた連続の1以上一次の管理者を影響に指揮を設置 - 2 事様以フロック等(深)(3)、点状フロック等(深)(3)を適切に要数のは音声表標を記憶に停止すること - 2 乗降ロビーの機能を表現を表現を選が、原書者等が利用する際に停止すること - 2 乗降ロビーの機能を表現を表現を通いまして高齢者、原書者等が利用する際に停止すること - 2 乗降ロビーの機能を表現を通いる場合、配の橋 160cm以上 - 3 職の橋 500mで記入、201日の 100cm以上 - 4 東西橋 500mで成立を表現を開きる。 1 不物で使用で、201日を表現を開きるのより構造。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	28	採品質8,000m*を超える場合 権の編 160cm以上 車椅子の転回に支導のない構造 離がに、到着する窓、艦・昇降器の出入口の戸の閉鎖を知らせる音声装置の 艦・乗降ロビーの制御装置(車椅子使用者が利用しやすい位置等)は、点字等	ľ	П	
- () 「以下の場合(1/80)上、2000と下の場合(1/100+2以上設置 - () 「関係の数が2000人にか勝して設置 - () 「関係の数が2000人に対象した。 - () 「関係の数が2000人に対象した。 - () 「日本格子の用名別の経済工ストースを構造して設置 - () 「日本格子の用名別はエストースを構造して設置 - () 「日本格子の用名別は「国子るもの - () 「日本格子の用名別は「国家会社」は「日本の主義の「1/800人上党」 - () 「日本格子の用名別は「国家会社」は「日本の主義の「1/800人上党」 - () 「日本格子の用名別は「国家会社」は「日本の主義の「1/800人上党」 - () 「日本格子の用名別は「国家会社」は「日本の主義の「1/800人上党」 - () 「日本格子の用名別は「国家会社」は「日本の主義の「1/800人主義」」は「日本の主義」は「日本の主義の「1/800人主義」と「日本の	28	床面積5,000㎡を超え 車椅子の転回に支障の 籠内に、到着する階、	-	П	
- ① 同様の最近(50以上、200を超え2,000以下の場合)(100+2以上設置 - ② 機病の数が200以上の場合とは、車椅子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 段がある部分は次に掲げるもの - ② 理解部は大機が3もの - ② 理解部は大機が3もの - ② 理解が上限するもの - ② 理解が出版に結が3もの - ② 理解が出版には対するもの - ② 理解が出版に対けるもの - ② 理解が上限するもの - ③ 非権子使用者指揮す施設を結事施設の総数の1/50以上設置 - ③ 非権子使用者指揮す施設を計事施設の総数の1/50以上設置 - ② 事権中使用者指揮す施設を対けに利用監管等:での経路の長さができるだけ近くなる位置 - ③ 非権子使用者指揮す施設を対けに利用監管等:での経路の長さができるだけ近くなる位置 - ○ ② 兼株プロック等(窓:4)、点状プロック等(窓・4)・点材に対するとの経路の上設置、での経路の長さができるだけ近くなる位置 - ○ ② 兼株プロック等(窓・4)、点状プロック等(窓・5)・を通り工機設に対して対場を表示を設置を設置する設備を設置 - ○ ② 兼体ロドーに転端が止策を講する - ② 集体ロドーに転端が止策を講する - ② 集体ロバーに転端が止策を講する - ○ 3 離の個 160m以上 - ○ 3 離の個 160m以上 - ○ 4 東面荷6,00mでは20よりは会替を 離の値 160m以上 - ○ 5 非椅子の転回に支援のない場合	28	床面積5,000m²を超える場合 箱の幅 車椅子の転回に支障のない構造			
- (以下の場合(おの以上、200と 200以上での場合)100+2以上設置 - (2 関係の数200以上で通告)11、非様子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - (1 段がある部分は次に掲げるもの) - (0 日本語子使用者用の建筑文はカンタを教設 - (2 報報で表現を指摘するもの) - (1 単語子使用者用野車地談を4単地設を4型地域で利用と2020以上設置 - (2 単語子使用者用野車地談と4日地方のより用限等等までの経路の1以上での選達者を設置を2020以上で、2020以上に、2020以上で、2020以	28	床面積5,000m ² を超える場合 箱の幅	H		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	28		_		
- ① 同様の最近(50)に、200を超え2,000以下の場合(1)00+2以上設置 - ② 関係の数が200以上の場合とは、主義子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 段がある部分は次に掲げるもの - ② 関係の数が200以上の場合は、車様子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ② 関係部は改成は時ずるもの - ③ 非希子使用者指揮事施設を結事施設の結数の1/50以上設置 - ② 財格子使用者指揮事施設なら利用展等等までの基礎の長まができるだけ短くなる位置 - ② 財権子使用者指揮事施設なと計事施設の結数の1/50以上設置 - ② 財権子使用者指揮事施設なと計事施設の結数の1/50以上設置 - ② 財権子使用者指揮事施設なと計事施設の結数の1/50以上設置 - ② 財権子使用者指揮事施設なと計事施設の指数の1/50以上設置 - ○ ② 財権子使用者所用す施設ないも利用の発表されての路域の1以上一次の設備者を修算可得に搭載 - ○ ② 財権子使用者所用する場合は関係を設置しており、高級プロック等(※9)を選別、最近のは当時の計算を設置を設置を設置を設置を設置を設置を設置を設置を設置しては多数の者が利用し、又は主として結婚者、解者者等が利用する限に停止すること - ② 東端ロじて、元禄派別上策を課する - ② 東端ロじて、元禄派別上策を課する			-	_	米塚ロバー
- ① 同様を指用の指摘式はスペースを構造して設置 - ② 原係の数が200以上の場合は、単格子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 2 原係の数が200以上の場合は、単格子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 2 原格の数が200以上の場合は、単格子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 単格子使用者用類単地設から4利用質報度で移動の1/50以上投資 - 2 単格子使用者用類単地設から4利用質報度で移動の1/50以上投資 - 2 単格子使用者指揮車施設から4利用質報度での2000(東京)は1 道等から数で設備(201所がある場合は数分別)までの2階級の1/51/七人の影響を74程度停害者移動等円滑化基路 - 1 道等から数で設備(201所がある場合は数分別)までの2階級の1以上一次の影響を74程度停害者移動等円滑化基路 - 2 単格子使用者指揮車施設対よりは74月開展電度で201回を設立は1上一次の影響を74程度停害者移動等円滑化基路 - 2 単格子使用者指揮車施設対よりは10日度で30日度設立は12日度場を74日度等を74程度停害者移動等円滑化基路 - 2 単格子使用者指揮車施設対より4月間で30日度会立は12日度会立は12日度を74日度等を74程度停害者移動等円滑化基路で12日度で30日度会立は12日度を74日度等を74日度等を74日度等を74日度等を75日度を75日度を75日度を75日度を75日度を75日度を75日度を75日度			ľ	_	及びその
以下の場合(どの以上、200を超え2,000以下の場合)1/00+2以上設置		又は主として高齢者、		_	エレベーター
- ① 同様を指用の提案とはスペースを機能して設置 - ② 機能の数が200以上の場合は、非様子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ② 機能の数が200以上の場合は、非様子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ② 国格子使用者指挥事態設を批事施設の総数の1/50以上設置 - ② 国格子使用者指挥事態設を批事施設の総数の1/50以上設置 - ② 国格子使用者指挥事態設を批事施設の総数の1/50以上設置 - ② 国格子使用者指挥事態設とも打印。 ○ 業本子の意識に表する必要に (本名の選 事件子使用者指挥事態設とも利用医電等までの経路の長さができるだけ近くなる位置 - ② 事件子使用者指挥事態設入は特定方式の経路の手ができるだけ近くなる位置 - ② 事件子使用者指挥事態設入は特定方式の場合。 ○ (森状プロック等(系4)、点状プロック等(系9)を選切「送上一次の規度障害者を誘導する設備を設置を設置している。 (系4)、点状プロック等(系9)を選切「送上一次の規度障害者を誘導する設備を設置 - ② (東の上下端・傾斜部の上端に正接する部分に点状プロック等(※9)を素談 - ② (東の上下端・傾斜部の上端に正接する部分に点状プロック等(※9)を素談 - ② (東の上下端・傾斜部の上端に正接する部分に点状プロック等(※9)を素談 - ○ (3) 基準(移動等円滑化経路等に追加される基準) - ● (3) 基準(移動等円滑化経路等に追加される基準) - ● (3) 基準(移動等円滑化経路等に追加される基準)	Ē		⊢	744	
- 以下の場合(の以上、200と超え2,000以上の場合(100+2以上設置 - ② 原係の数が200以上の場合は、車椅子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ② 原係の数が200以上の場合は、車椅子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ② 原料路は女に掲げるもの - ② 原料路は女に掲げるもの - ② 原格がは大に掲げるもの - ② 原料路は女に掲げるもの - ② 事椅子使用者用罪車施設を指車施設の結数の1/50以上設置 - ② 事椅子使用者用罪車施設を指車施設の結数の1/50以上設置 - ③ 事椅子使用者用罪車施設から利用提金等までの路路の1点とができるだけ恒くなる位置 - ③ 事椅子使用者用罪車施設から利用提金等までの路路の1点とができるだけ恒くなる位置 - ③ 事椅子使用者用罪車施設から利用提金等までの路路の12上示し、砂塊で音音移動等円滑化経路 - ○ ③ 様代プロック等(35.4)、点式プロック等(36.9)を通到に敷設又は音光接等で提受修者者を誘導する設備を設置 - ○ ② 様代プロック等(36.4)、点式プロック等(36.9)を構設 - ○ ② 様の上下端・傾斜路の上端に近接する部分に点状プロック等(36.9)を構設 - ○ ② 様の上下端・傾斜路の上端に近接する部分に点状プロック等(36.9)を構設 - ○ ② 様の上下端・傾斜路の上端に近接する部分に点状プロック等(36.9)を構設	総部合		H 93		整備項目
以下の場合(1/5以上、2006超文2,200以上の場合(1/00+2以上設置 1人下の場合(1/50)上、2006超文2,200以上の場合(1/50) 1人 (1/50) 1人 (14		H		
- 以下の場合(りの以上、2006超え2,200以下の場合(100+2以上設置 - ② 原係の数が200以上の場合は、車椅子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ② 原係の数が200以上の場合は、車椅子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ○ 日本市の設置 - ○ 国本市の設置 -		線状プロック等(※14)、	-		の経路
- 以下の場合(1/50)上、200を超え2,000以下の場合(1/00)+以上設置 - ② 関係の数2000以上の場合は、車棒子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 (現外ある部分は3に18月7るもの - 1 (現外ある部分は3に18月7るもの - 2 (原発部には水井フェックを教験 - 2 (原発語には水井フェックを教験 - 2 (原発語には水井フェックを教験 - 2 (原発語には水井フェックを教験 - 2 (原発語には水井フェックを教験 - 3 (原本子使用者引展中施設を由す施設の接近71/50以上設置 - 3 (原本子使用者引展中施設から利用発電等までの路路の長さができるだけ低くなる位置 - 3 (原本子使用者引展中施設が1/50以刊用発等等までの路路の長さができるだけ低くなる位置 - 3 (原本子使用者引展中施設が1/50以刊用発等等までの路路の長さができるだけ低くなる位置 - 3 (原本子使用者引展中施設が1/50以刊用発等等まで高路が1/50以刊低くなる位置 - 3 (原本子使用者引展中施設)は1/50以刊用発等までの路路が1/50以刊低くなる位置	27		Ľ	_	案内設備また
以下の場合(1/5以上、2006超文2,000以下の場合(1/100+2)以上設置					
- 以下の場合(1/50)上、200を超え2,000以下の場合(1/00+2)以上設置 - ② 原係の数が3200以上の場合は、車椅子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 原がある場合は1.8月である。 - □ 日本中の設置 - □ 2 博物館は対に掲げるもの - □ □ 日本時で使用者が出場にある。 - □ □ 日本時で使用者が正規するもの - □ □ 日本時で使用者が正規するもの - □ □ 日本時で使用者が正規する後の総数の1/50以上設置 - □ □ 日本時で使用者が正式地がるもの			_	1	
以下の場合(1/5以上、2006 超え2, 2000以下の場合)(100+2以上設置 ① 同作者用の原東スはスペースを開放して設置 - 2 歴席の教が2000以上の場合計、車件子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - 1 股がある部分は次に掲げるもの - 1 比下端には成状フロックを敷設 - 2 原約部は次に掲げるもの - 2 原約部は次に掲げるもの - 3 原約部は次に掲げるもの - 4 原約部は次に掲げるもの - 5 原列では次に表げるもの	26	1 車椅子使用者用駐車施設を駐車施設の総数の1/50以上設置	ľ	_	四世節(※8)
以下の場合(5の以上、200を超え2,000以下の場合(100+2以上設置 ○ 同様帯用の度原式はスペースを開発して設置 - ② 継席の数が200以上の場合は、車棒子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - ③ 上下端には成状プロックを敷設 ○ 上下端には成状プロックを敷設 - ② (Ė			
- 以下の場合(76以上、2006超え200以下の場合(700年以上設置 - ○ 同様等用の建筑文はスペースを構造して設置 - ○ 国際の数が200以上の場合は、車棒子使用者が甲滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置 - □ はがある部分は次に掲げるもの - ○ 上下海には成状プロックを表現 - ○ ① トー第項には成状プロックを表現			H		
 以下の場合1/50以上、200を意 □ 同伴者用の座館又はスペーー □ 座席の数が200以上の場合は、 ー 1 段がある部分は次に掲げるも 	25		ľ	1	
以下の場合1/50以上、200を起 ① 同伴者用の座席又はスペー② 座席の数が200以上の場合は、			<u>'</u>	_	敷地内の通路
0 .		座席の数が200以上の場合は、	H		
,		Ė			
		□ 以下の場合1/50以上、200を超え2,000以下の場合1/100+2以上設置		_	(%7)

③これらの者の滞在時間が短い階を ④その他管理運営上これらの者が利		□ 高さが75cmを超える場合は、75cm以内ごとに路幅150cm以上の箱り場を設置	H	
② これらの者が利用する部分の床面		1 傾斜路は次に掲げるもの		敷地内の通路
①直接地上に通ずる出入口のある階		9 その他、高齢者、障害者等が支障なく利用できる構造(※17)	I	
N		8 龍又は乗降ロビーに到着する龍の昇降方向を知らせる音声装置の設置		
5 1 0 2 3 に該当する場合、踊り場に	点字等(※13)視覚障害者が円滑に操作可能な構造	7 籠・乗降ロビーの制御装置(車椅子使用者が利用しやすい位置等)は、点字等(※13)視覚障害	-	
		6 籠内に、到者する階、籠・昇降路の出入口の戸の閉鎖を知らせる音声装置の設置		
		5 車椅子の転回に支障のない構造		
29 9 回ざ昇級ご名で昇級が移行された題が		4 床面積5,000m²を超える場合 簡の幅 160cm以上		
		3 籠の幅 140cm以上	1	#隔ロバー
数		2 無降ロビーに転落防止策を講ずる	-	及びその
	516	1 不特定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する階に停止するこ	1	エレベーター
※12 へ 門/ エチイア・・ グ 服状 一般に 一般に 一般に 一般に			遵努	
		整確均容	チェック	整備項目
		努力基準で上乗せされる基準(移動等円滑化経路等に追加される基準)	上港	努力基準
《AL PHE (/ / / / / / / / / / / / / / / / / /		② 段の上下端・傾斜路の上端に近接する部分に点状プロック等(※9)を敷設	H	
	を誘導する設備を設置	① 線状プロック等(※14)、点状プロック等(※9)を適切に敷設又は音声装置等で視覚障害者を誘導する設備を設置	-	の揺踏
	5円滑化経路	1 道等から案内設備(案内所がある場合は案内所)までの経路の1以上→次の視覚障害者移動等円滑化経路	1	案内設備まで
		3 車椅子使用者用駐車施設又は付近に利用居室等までの経路についての誘導表示を設置		
		2 車椅子使用者用駐車施設から利用居室等までの経路の長さができるだけ短くなる位置	1	
		1 車椅子使用者用駐車施設を駐車施設の総数の1/50以上設置		四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
※5 不特定かつ多数の者(遵守基準)/不		① 手寸りの設置		
		2 傾斜路は次に掲げるもの	1	
		□ 上下端には点状プロックを敷設	1	
※2 大器行む(の数の地(海行棋組)/A		1 段がある部分は次に掲げるもの	1	敷地内の通路
■ 3.1 特棋曲のマードの 多勢の東京型田 電力	:に分散して設置	2 座席の数が200以上の場合は、車椅子使用者が円滑に利用することができる場所を2箇所以上に分散して設置	1	
74: 314.		① 同伴者用の座席又はスペースを隣接して設置	-	
2	7~100次 17の第日 4 次十、100名 10人20			(※7)
■ 1 繋箱石 8 繭 6 べつ 淡 4 箱 表 り 株田	00 5 H+ 400 1 100 5 H1 5 T 100 5 H1	- Landa Andrews Andr		201407/ 1441-0911

開車場が構成が駐車場であり、かつ、その出入口の部分に車椅子使用者が日滑に自動車に実際することが可能な場所が1以上設けられている場合 の機械大駐車場の出入口の部分に車棒子使用者が日滑に自動車に実際することが可能な場所が1以上設けられ、かつ、機械大駐車場の駐車福政の数及び機械 大以外の駐車場に設ける指針で使用者用駐車機器の数の合計機が1の以上である場合 大以外の駐車場に設ける指針で使用者用駐車機器の数の合計機が1の以上である場合 実別がから出入口を容易上で認り電では等から出入口までの搭路が規模で発布移動等日滑に定路で適合する場合 構造してきる場合となって、車棒子で相目できる場面を採用する場合 構造してきるを含ないる場合とはで、車棒子で相目できるも関心を採用する場合 を設けている場合 の様は関い代わる4の180m以上、既に併設するもの200m以上の名配は1/20元機の過去が120mを超えるものは高式150m以内ごとに基分権180cm以上の第り場を設置 の手すりの表現の原理に関係文はたけ、を設置の資産器の始末、存在に、非常子が安全に停止することができる平坦な部分の設置 (の計をの通常ともの対象、色料又は参数の光が大きいことでその存在を存身に議別に指 1週報の通信とのでは150mに対しない大の全体の当まがより 1月レントター及びその条件ロビー」に定めるエレベーター、「特殊な構造又は供用形態のエレベーターその他の昇降機」に定める昇降機、次に掲げる機格格 「製料の場が機構が関連であり、かつ、その出入口の総分に無幹が利用を切り報に自動は決議を決議したことの総合場所が、以上設けられ、かつ、機械で延期を認め表及び機械の機大口の総分に非称す使用者が利用に自動はに保険することが可能な場所が、以上設けられ、かつ、機械で延期後の数数が機械を関係を関する。 「製造がの発用場に設ける。特殊子使用者用無理機能の数の合計数が200以下の場合は15の以上、200を超える場合は17.10中 と以上である場合
「設成能で行う場合で、当成代修に保る部分の計算場に設ける駐車機能の数が200以下の場合は17.80以上、200を超える場合は17.10中 と以上
「設成物である部分の計算場に設ける駐車機能の数かるが20以下の場合は17.80以上、200を超える場合は17.10中 と以上
「設成物での他の昇降機、使用、駐車機能の配置を参与に提送可能が場合を除く。」
「当該ながでの他の昇降機、使用、配車機能の配置を参与に提送可能が過去を持て10以上
「20」に該当する場合、参与所がら出入しまである場合と除く。
「20」に該当する場合、多対に対し入口を被引は対しては、200では、 の直接地上に通ぎる出入口のある線で、車輪子便用者用度房を 1以上設ける橋渡が同一敷地内の当該出入口に近接する場合 ②その展に設置すべき車輪子使用者用度房の全部又は一部を他の関係に設置する場合 ③サー用の便所のみを設ける際にリチ用の車輪子便用者用度房を 1以上設ける場合 ④女子用の便所のみを設ける際に女子用の車輪子便用者用度房を 1以上設ける場合 「毎女子用の便所のみを設ける際に女子用の車輪子便用者用度房を 1以上設ける場合 「毎女子用の便所のみを設ける際に女子用の車輪子便用者用度房を 1以上設ける場合 「毎」将に不特定から参数の者が利用「老便子用矢型の場合は大力されが「以上ある場合 不特定から参数の者が利用(選守基等)/不特定者しくは参数の者が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用(幾力基準)する俗主等(男女別の場合はそれ 不物定若しくは多数の者が利用し、又は主として高齢者、腐害者等が利用する溶査等(男女別の場合はそれぞれ)が1以上ある場合 点状プロック事の複数が利用上件に支援を来す場合⇒仕上げの色を変える等の代替指面 ①又は20に当てはまり場合 1 ①②に該当する場合 踊り場が直進の250cm以下の場合 1 ①②、19に該当する場合 「今の配」(10以下の銀線図自動車駐車施設内がある部分と連続して手すりを設ける場合を通常して手すりを設ける場合を確保することが国際である場合をできませる。「その路段を保さ、移動等円滑右路路等を構設するエフスープの路段を保さ、移動等円滑右路路等を構設するエフスー 照してへださい。また、緩和措置響に数字が記入されているものは、備考の緩和措置を参照してへださい。られている場合に、チェック書に○を記入してへださい。 題、「森子や田弟の田舎に田田さめ十分な別町を確保、「森田の飯用に近接し、分からやすく利用しやすい飯屋に設置、田銀舎板の議合が下った原屋、田田舎の大田舎に田田でもの土が京屋 現金板の議論をが示った京屋 FIRA(1990年) 東海丁米田コンベーターに関する職籍」[JIVS—813日 - 世貨場舎を兼田コンベーターに関する職館」に近める七日27~1984年 - 世紀本学出 |用する便所を設けないことがやむを得ないと認められる階を除く -ター及び乗降ロビーを併設の場合は適用外

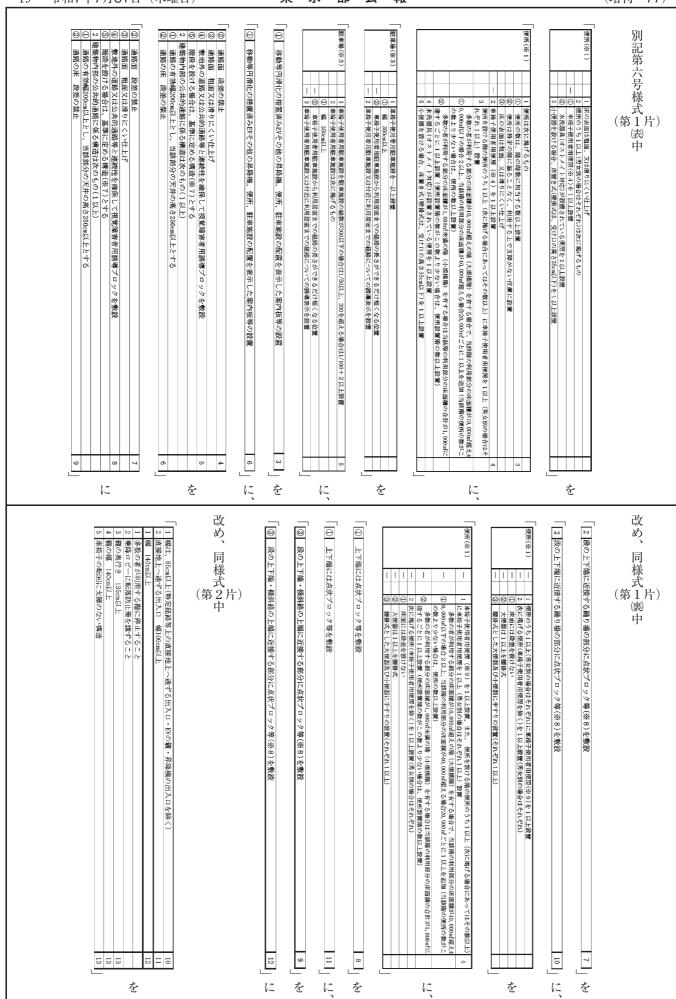
東

京

都

公

報



Γ 8 4 ₩ 6

%

7 15 16 17 17 18

20

(江海球の近外大き)、ことでもの存在を参与に繋が回転に (江海球の近れている場合の当家が近上地の場所 (江海球の近れている場合の当家が近上地の場所 (江海球の近れで)、「特殊な構造以は使用形態のエレス・ターその他の具体機」に在める具体機、状に掲げる個斜路を (東に併設するもの00m以上の2個は 1/2末端の地でが15cmを超えるものは過ぎ75cm以内ごに購予場15cm以上の贈り場を製 またりを装置の優秀塔の地点、株点に、申権子が安全に停止することができる早坦な部分の製置 (北上りを装置の優秀塔の地点、株点に、申権子が安全に停止することができる早坦な部分の製置 (北上りを装置の場所を地点、終点に、申権子が安全に停止することができる早坦な部分の製置 (北上りを装置の場所を地点、終点に、申権子が安全に停止することができる早坦な部分の製置 (北上での選が15cm以下のものを終えるなどの代書措置 17cm以前の上に下の角を終えるなどの代書措置 17cm以前の上に下の角を終えるなどの代書措置 17cm以前の上に下の角を終えるなどの代書措置	にためる年務後、次に掲げる面談報を 1/1とに最み面ISOmB以上の第り場を表 かの設備 の、直接で250m以下のものを嵌く。) 2 施	ターキの街の再等職」に定める具等職、次に掲げる度登略や ためものは減さ75cm以外にとに職が満150cm以上の贈り場を敷 いとがされる手当な部分の数例	附	近子宮崎久は1411年の教育の変質なら名称。 表現で、中国社会科学の中では、1911年の中国会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	19 20 20 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19		①文字等の浮き彫り、②音による案内、③点字及び①②に類するもの」以、 18 輪集でなる集中で 18 編集でなる集中である。		18 18 (単十ヶの容績の)	135cm以上 (階段に併設する場合は90cm以上) 「動情は東に代わるもの140cm以上」	y co	_	は1/20を超えないこと	(階段に併設する場合は90cm以上) *** 7 「エレベーター及び	Q0	[14] ②故修を行う場合	@ P (12 C	\$H	の難らのいの	V	16	_	等上の直接地上へ通ずる出入口・EVの籠・昇降機の出入口を除く) 13	「3 次のObinOpinOpinOpinOpinOpinOpinOpinOpinOpinOp
京都福祉のまちづくり条例(平成七年東京都条例第三十三号。以下「条例」施行日から起算して三十日を経過する日以前に新設又は改修の工事に着手した			の規則は、令和八年一月一日(以下「施行日」という。)から施行する。			海省十代2年代の高級政策用する場合 最近の近代によっての最近であれた。他のは、180m以下のもの又は素語の状況によりやむを存在で輩合は、1/12以下とすることができ 項さず16m以下のものは、1/8以下、76m以下のもの又は素語の状況によりやむを存在で輩合は、1/12以下とすることができ	標準以下から水値だい場合は、80mm以上とすることができる。 標準以下から水値だい場合は、80mm以上とすることができる。 要維以下から水値だい場合は、120mm以上とすることができる。	(の間夜の出路の口が光後、凹れ大小が皮の近が入れていてくていずはなきあり形成が19%。 の資料の上輪に近近する隣り場合所がは、「成大・フェッタ〜後、80 表表数(四型1/20未満のもの、両さ16cmを超えないもの、直接・ 陽り場が直接の256cm以下の場合 成大・フェッタの表数が利用上輪に支膊を来す場合→仕上げの色を変えるなどの代替指揮 の4型1/20未満の通る16cm未満からの超近1/12未満の通りはある報分・複数がある報分と連携して手すりを設ける賭り場等	■ ■ 「一個のでは、「一個のでは、「「「「「」」」」を表示していませた。 「「「」」を表示していませた。 「「」」を表示していません。 「「」」を表示しませた。 「「」」を表示しませた。 「「」」を	もの140cm以上、吸に併設するもの90cm以上②勾配は1/12未満③高さが75cmを超えるものは高さ75cm以内ごとに踏み幅150cm以上の踊り場を設	300.70年では、1.20年刊刊であっています。 「コレストラスジネの東路ロアー」に何めのリフペーター、「毎年公務治又は街用形物のリフペーターその他の昇路後」に何める昇路機、次に掲げる優斜路やStationを指する。	●オリの設備の原理で意識又は立上りを設備の養食器の銘点、終点に、其格干が安全に停止することができる平道な第分の設備 ⑥半すりの設備の原理に意識又はの見ば、名指又は設備の差が大きいことでも存在を診断に構型回転 道路の存储される上端に下着までするようによるから記憶は重した器	もの140cm以上、駅に併設するもの90cm以上②均配は1/20未満③高さが75cmを超えるものは高さ75cm以内ごとに臨み編150cm以上の踊り場を設	一」に定める	④我等的行り攀合は、出版政際方案や導分方質甲攀的設定なで攀合賞=以上出版EA子の色の軒隔蒸、商店、評価複製の関節を発起ご施設回結な夢中を深へ、	で、当該政権に係る部分の駐車場に設ける駐車施設の数が200以下の3	○武事業が最高式調養能であり、から、その田入口の部分で業者下使用者が日常に自鬱素に業務することが目指な悪圧が1以上限けられたで必要からの義大は非常の田入口の部分で集者下使用者が日常に自鬱素に実務することが国行を指すがよりから、参支は指令薬の部域を認め、教養の主義が認め、教養の主義が認め、教育の主義が記る。○義夫は非常等の田入口の部分で表者で存用者が日本においます。○義夫は非常等の田入口の部分で表す。○表表は非常等の日本を記るの表す。○本表は、大学を持たけの中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、	例文十年の東西の今年度にお紹介の本代十年の年代十四年年末の第二次十四年の第二十四年の日本の日本では14年14年の著名	③男子用の便所のみを設ける隣に男子用の車椅子使用者用便房を1以上設ける場合のチャコの便所のみを設ける場に男子用の車椅子使用者用便房を1以上設ける場合	◎その階で設置する多車格子使用者用便房の全部又は一部を他の階で設置する場合	①特格を上げ給売のほとこの大の発は、世界中毎田米田倫側や121男子の神器美国工場を取らまれていて活格寺の首心①から②注き7日間へ行用の総合	④その他管理運営上これらの者が利用する便所を設けないことがやむを得ないと認められる	2. の思想の名画家名曲できない。画事語が他で帰	でであった。 ◎直接起上で通する出入口のある暗であった、多数の者が利用する便所を1以上設ける施設が同一敷地内の当該出入口に近接する場合のの直接出て通するようではできません。 ◎の4さも上で通すされた。	の語を深く

に

規定する整備基準適合証(以下「適合証」という。)の交付については、当該施設の 正後の東京都福祉のまちづくり条例施行規則(以下「新規則」という。 完成の日から起算して六十日以内に交付の申請があった場合には、この規則による改 かわらず、なお従前の例による。ただし、新規則の規定による適合証の交付を妨げな)の規定にか た、 項に とい 東

3 う。) 第九条の届出があった条例第十七条第一項に規定する特定都市施設については、 の規則による改正前の東京都福祉のまちづくり条例施行規則 旧規則に定める整備基準とする。 条例第二十二条第二項に規定する勧告において勘案する整備基準は、 以 下 「旧規則」とい 施行日前にこ

21	令和7年7月31日(木曜日)	東	京	都	公	報	(増刊 77)
							紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができる。 4 この規則の施行の際、旧規則別記第二号様式、第五号様式及び第六号様式による用